評　価　調　書

評価テーマ	福岡県農業の次代を担う「人財」の育成

重点目標：先進技術と高い経営感覚を備えた新規就農者の育成確保
目標：卒業生・修了生の新規就農者割合６３％

実施計画	実施実績
養成科 １　就農を目指す学生の確保 ・HP での情報発信、学校訪問の実施、オープンキャンパスの実施、等 ２　就農に向けた意識啓発、就農意欲向上 ・農家留学研修の強化、インターンシップの充実・強化、等 ３　就農につながるスキルアップ ・農業新技術の理解促進、農業経営への理解促進・実践力強化、各種資格・免許取得、等 ４　就農機会の拡充 ・就農相談会、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ受入経営体のﾘｽﾄ化、農業経営者との交流会 研修科 １　就農相談会 ２　先進農家研修 ３　普及指導センター・OB との連携強化 ４　学校外部との連携強化 ５　入校希望者への個別相談	養成科 １　就農を目指す学生の確保 ・HP 記事掲載数１．５回/月、学校訪問 54 校、ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ 3 回のべ 115 名参加、等 ２　就農に向けた意識啓発、就農意欲向上 ・農家留学研修 1 学年全学生実施、インターンシップ法人・総合ｺｰｽ全学生実施、等 ３　就農につながるスキルアップ ・農業 DX への取組み、経営力強化のカリキュラム構築・実施、各種資格・免許取得、等 ４　就農機会の拡充 ・就農相談会 6 名、受入経営体ﾘｽﾄ化 114、農業経営者との交流会 5 経営体参加　等 研修科 １　就農相談会：2 回 45 名参加 ２　先進農家研修：研修生 13 名実施 ３　普及指導センター・OB との連携強化：相談者 26 名 ４　学校外部との連携強化：研修会 2 回 ５　入校希望者への個別相談：相談件数 40 件
指標　目標 卒業生・修了生の就農者割合６３％	指標　今年度実績 就農者割合４８％(達成度 76%) 養成科 18/48 名、研修科 12/14 名

評価				
A　４名 (欠席１名)	A　成果が出ており、評価項目・目標への対応を行っている。	B　一定の成果が出ており、課題への対応を行っている。	C　現段階では成果が見えにくいが、課題への対応を行っている。	D　成果が見えず、課題への対応まで至っていない。

評価委員からの助言、提案事項

・全体的な評価として「人財の育成」というテーマのもと、目標値に届かない項目もあるが、概ね計画通りに実施。スキルアップとして「スマート農業」「労務管理」等の講義を追加・必須化している等、時代背景に応じた対応は評価できる。

・JA トレーニングファーム等、相互協力できる部分があればと考える。

・農地・施設確保難や資材費高騰の状況の中、独立自営就農は厳しい。雇用就農は有効な手段であり、雇用期間中に資金や技術力、人脈等を形成して、独立就農に繋げられるよう、基礎的な知識、人格形成を農大教育として行うことが肝要。

・就農率 48%は評価できる内容。農家留学研修等は農業大学校卒業生を活用していただきたい。

・情報発信ツールとしてインスタグラムは非常に有効である。また、オープンキャンパス等における農業 DX の取組みのデモンストレーションは有効である。

・今後とも福岡県における次世代の農業者確保・育成対策について意見交換をお願いしたい。